

9/20
2023. (水)

会場：埼玉大学全学講義棟1号館301教室
定員：会場参加定員 150名
オンライン参加定員なし

時間：14:00～17:00

申込方法：埼玉県生産性本部
ホームページから
お申込みください。



〈埼玉県生産性本部 <https://spc-net.gr.jp>〉

100年老舗企業の持続的競争力から考える

環境変化を乗り越え続ける経営の底力／商品力、技術力、人材力／どうする「これから」人口減少時代

14:00 主催者挨拶 埼玉県生産性本部会長 栗田美和子

来賓挨拶 埼玉県知事

埼玉大学長 坂井貴文氏

第1部・2部進行役

明治学院大学名誉教授 神田良氏(埼玉県生産性本部理事)

14:15 第1部 老舗企業2社の経営者と従業員が語る

若林直樹氏 株式会社日さく 代表取締役社長 1912年/明治45年創業

機械を使用して深井戸を掘る技術を日本で初めて成功させた会社。地盤や地下水と共生し社会価値の創造のため挑戦し続け、その技術力はODA地下水開発事業を通し40カ国以上の途上国で貢献。SDGs理解を高めながら「安全な水」で社会課題の解決に取り組んでいる。



栗原良太氏 株式会社梅林堂 代表取締役社長 1864年/元治元年創業

創業者の九兵衛が京都、伊勢で食べた菓子の美味しさに魅了され中山道の熊谷宿近傍の石原村で創業。今に伝わる菓子創りの精神(こころ)を基盤に時代環境に適応しながら顧客への価値とビジネスモデルのシフト変換を弛まず積み重ねてきた地域密着型菓子店の老舗である。



15:50 第2部 地域で育む100年企業

若林直樹氏 株式会社日さく 代表取締役社長

栗原良太氏 株式会社梅林堂 代表取締役社長

加藤嘉夫氏 埼玉りそな銀行 法人部部長

関谷宏之氏 武蔵野銀行 地域サポート部部長

小林徹氏 埼玉縣信用金庫 執行役員 地域創生部部長

平尾幹雄氏 連合埼玉 事務局長

共催：埼玉県経営者協会、埼玉県経営品質協議会、連合埼玉

後援：埼玉大学、埼玉県、埼玉県産業振興公社／

青木信用金庫、川口信用金庫、埼玉縣信用金庫、埼玉りそな銀行、中央労働金庫埼玉県本部、

飯能信用金庫、武蔵野銀行／埼玉りそな産業経済振興財団、ぶぎん地域経済研究所／

埼玉経済同友会、埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業団体中央会

埼玉中小企業家同友会／埼玉新聞社、テレビ埼玉／中央税務会計事務所

協力：経営品質協議会、サービス産業生産性協議会

埼玉県生産性本部の活動コンセプト

県内中小企業の労働生産性向上（付加価値を大きくする）に貢献する情報発信。

- 1 改善、改良に挑み続けて自社の既存事業を強化する（賃上げ、未来への投資ができる）
- 2 マネジメント力を高める（従業員が「こんな会社で働きたい」となる近道）
- 3 ふつうの会社でもイノベーションはできる（自社の成長領域、機会を探してものにする）

埼玉県生産性本部は「経営者、労働組合、学識者」の3者で構成され運営をされています。

理念的なゴールは生産性運動3原則が県内の中小企業に理解され共感をしていただけることにあります。埼玉県生産性本部が昨今の社会的要請である「賃上げ問題」に資するとすれば生産性運動3原則と云う理念の実現を目指す私どもの活動そのものを継続していくことにあると考えます。

生産性運動 3原則

1. 雇用の維持拡大
2. 労使の協力と協議
3. 成果の公正な配分

私たちは運動の基本的な考え方として「生産性運動3原則」を掲げてまいりました。この3原則は、当時（昭和30年代）の時代背景として生産性運動の推進には労使の協力関係が不可欠との強い時代認識が反映されたものです。

そして21世紀。人口減少下の新たな生産性運動を展開すべく設立当初に匹敵する決意のもと労使の信頼と協力を基盤に生産性をめぐる諸問題に取り組んでまいります。

公益財団法人 日本生産性本部

埼玉県生産性本部理事、明治学院大学名誉教授 **神田 良氏**

一橋大学大学院商学研究科卒 専門は経営学。主要研究テーマ／長期存続企業の経営、戦略学習する組織、中堅企業のグローバル化。大手化学企業の傘下グループ企業の経営幹部を対象とした「ビジネスが創れる次世代経営者育成」講師兼コーディネーターを長年主宰、継続中。地方の産業クラスターに関与している経営者の育成にもコミットしている。

